



医療法人
社会福祉法人

養和会

No. 256

きやらぼく

令和3年1月発行

医療法人養和会は設立70周年を迎えます。

CONTENTS

- 新年のごあいさつ
- 養和会レポート
 - ・ 文部科学大臣賞を受賞
- information

※表紙写真は、養和病院から眺めた大山からの日の出です。

養和会グループの求人募集はこちらから →

engage 養和会

🔍 検索

養和会グループはengageを利用しています。

新年のごあいさつ



医療法人養和会 理事長 廣江 智

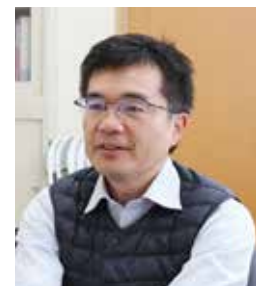


新年あけましておめでとうございます。令和三年は、干支でいうと二番目の丑年になり、十干の八番目になる辛を加えると「辛丑 かのと・うし」になります。子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期とされています。丑年には、先を急がず目の前を確実に進めることが将来の成功につながっていくと言われてます。COVID-19で全てことが、今までと同じように出来なくなっていますが、粛々と歩んで行くことが大事だと感じます。

そして、養和会グループは、本年6月に医療法人設立70周年を迎えます。昭和26年に医療法人制度が出来、すぐに法人化しました。医療法人制度は、戦後GHQ主導で出来た制度です。それまで個人事業として病院を運営してきた病院に企業と同じような経営基盤をもつ為に法制化されました。

昨年病院創立90年、今年は法人化70年と、地域の一企業として、しっかりと貢献できるよう、皆様のお役に立てるよう、また時代の流れに負けぬように常に新しいことにチャレンジする企業として、精進してまいります。今年も変わらぬご指導ご鞭撻のほど賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人養和会 理事長 廣江 仁



あけましておめでとうございます。

今年の干支は、十二支の中で2番目となる丑年です。丑年生まれの方は、忍耐強く、黙々と道を歩んで成果をあげるタイプで大器晩成型だそうです。「牛の歩みも千里」ということわざがありますが、努力を怠らなければ成果も上がることを意味しています。社会福祉法人養和会は今年、グループホームつばさ上後藤の新設、米子市心身障害者福祉センターと米子サン・アビリティーズの指定管理と新たな事業にチャレンジします。これら新規事業ではこれから作る歴史の第一歩を着実に踏み出しつつ、一方で今まで取り組んできた事業はコツコツと努力を怠らず、よりよい施設となるよう千里の道を歩んでいきたいと思っております。地域の皆さま、ご利用者の皆さま、そして全職員が今年一年健康でありますことを心からお祈り申し上げますとともに、本年も皆さまから変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



CHAXが、文部科学大臣賞を受賞!

CHAXは、皆生スポーツ広場の活動が評価され、文部科学大臣賞を受賞した。平成28年に障がい者のスポーツ活動ができる場「皆生スポーツ広場」を創り、この活動が、障がい者にとって、心身機能の向上だけでなく、社会との「つながり」の大きなきっかけとなっている。

鳥取県で初の受賞。

医療法人養和会メディカルフィットネスセンターCHAXは、『令和2年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣賞』（奨励賞）に選ばれ、12月8日（火）、文部科学省を配信会場としたオンライン表彰式が行われた。この賞は、平成28年度から鳥取県からの委託事業として行っている「皆生スポーツ広場」の活動が評価されたもので、鳥取県では初めての受賞となる。

障がい者がスポーツ活動できる場を。

障がい児・者が学校や地域におけるスポーツ活動に参加できる機会は十分ではなく、継続的にスポーツ活動を実施する環境は整っていない状況にある。また、特別支援学校卒業後は、在学中に比べ、運動をする機会が減り、体力の低下による仕事への影響、生活習慣病、二次障がい懸念される。

そのような状況を踏まえ、鳥取県は、「鳥取発!スポーツでつながる共生社会充実事業」を県内3拠点で開始。皆生養護学校を拠点とする事業をCHAXが受託し、始めたのが「皆生スポーツ広場」だ。「皆生スポーツ広場」は、毎月1回（2時間）、皆生養護学校体育館を利用して、理学療法士を中心に、医師、健康運動指導士、障がい者スポーツ指導員ら多職種チームによって障がい者がスポーツ活動を行うことができるよう創られた「場」。これまで、理学療法士によるストレッチ指導や感覚を身に付けるレクリエーションスポーツ、鬼ごっこ、風船バレー、また、車いすスラロームやポッチャなどの様々な競技スポーツも行ってきた。「障がいのあるなしに関わらず、誰もができて、誰もが



笑顔になって楽しめるポッチャを本格的にスタートさせたのはこの皆生スポーツ広場でなんです。」とCHAXの石丸氏。

皆生スポーツ広場から社会へ。

体育館での練習から競技場での練習へ、次第に「大会に出たい」という意欲へとつながり、中には全国障がい者スポーツ大会に出場できた人もいます。また、この経験によって、自信、協調性、闘争心、目標への努力など、社会で生きていくための必要な力を身につけ、一般就労へとつながった人、一つのスポーツに魅かれ、スポーツ選手として活躍している人もいます。

楽しみながら体を動かすことでたくさんの笑顔があふれている「皆生スポーツ広場」。共生社会の実現へ向けたこの活動の社会的意義はととても大きい。

いつか「障がい」という言葉がなくなり、障がいの有無の関係ない社会になる時を夢見て活動はこれからも続く。

皆生スポーツ広場での活動





精神科デイケアたんぽぽ



通所リハビリテーションセンターかみごとう

クリスマス会を開催しました！

12月25日(金)、各部署でクリスマス会を開催しました。

クリスマスの飾りつけで華やかになった部屋で、ゲームや職員による歌などの催しを行い、ケーキを食べてクリスマスの雰囲気を楽しみました。



餅つきを行いました！

12月28日(月)、新年を迎えるにあたり、鏡餅作りを行いました。長年の行事として毎年行ってきた鏡餅の餅つきは、始めた当初、70kg以上の餅をご利用者と一緒になって作り、三が日に給食で餅をご提供していた時期もありました。今年は、仁風荘、エポック、つばさ、あぶりこ等に飾る鏡餅作りのため、職員が25kgの餅をつき、餅つきを見に来られたご利用者は迫力ある光景に懐かしそうに見入っておられました。



養和会理念

養和会はご利用者の幸せ
地域の幸せ 職員の幸せを追求します。

こちらからHPもご覧ください

養和会



医療法人養和会 〒683-0841 米子市上後藤3丁目5番1号 TEL 0859-29-5351 FAX 0859-29-7179
社会福祉法人養和会 〒683-0841 米子市上後藤8丁目9番23号 TEL 0859-48-0483 FAX 0859-48-0484

UD 見やすいユニバーサルデザイン
FONT フォントを採用しています。

※写真・作品などに関しては、ご本人の了解を得て掲載させていただいております。